

核兵器のない世界へ日本政府の役割とは……

日本政府は、なぜ核兵器禁止・廃絶の先頭に立てないのか

被爆者の証言を聞き、 核のない世界を求める学習会



佐藤光雄さん

とき 10月28日(木) 午後7時開会

ところ さいたま共済会館 6F (地図参照)

講師 佐藤光雄 平和委員会代表理事、原水爆禁止世界大会運営委員会代表
佐藤光雄さんは広島で被爆され、第1回の原水爆禁止世界大会以来、すべての世界大会に参加。いっかんして原水爆禁止、公正で平和な世界をめざして活動しておられます。



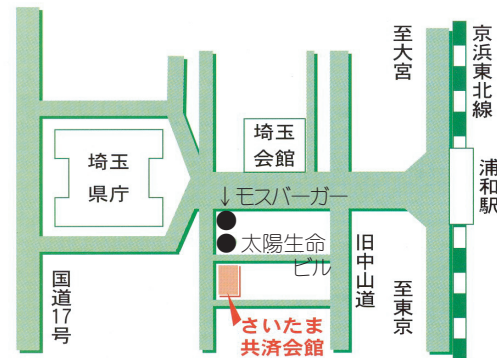
被爆者の証言

 埼玉県原水爆被害者協議会(しらさぎ会)から

「核で平和が守られている」という間違った考え方です。今こそ、被爆者を先頭に、「核兵器と人類は共存できない」と主張してきた日本国民の願いを高く掲げ、政府に「核抑止力」論を放棄し、核兵器禁止・廃絶の先頭に立つよう求めるときです。

菅首相は式典では、「核兵器廃絶の先頭に立つ」とあいさつしましたが、直後の記者会見では「核の傘」核抑止力」を説くという矛盾する態度を取りました。

被爆国の政府がなぜこのような態度になるのでしょうか。その根底にあるのは、「核で平和が守られている」という間違った考え方です。今こそ、被爆者を先頭に、「核兵器と人類は共存できない」と主張してきた日本国民の願いを高く掲げ、政府に「核抑止力」論を放棄し、核兵器禁止・廃絶の先頭に立つよう求めるときです。



JR浦和駅西口より徒歩10分

主催：原水爆禁止埼玉県協議会
さいたま市浦和区高砂 3-10-11
第一木村ビル 301
Tel:048-863-5384、Fax:048-863-5426
メールアドレス：info@gensuibaku-saitama.org